

令和4年度 海外研修のご案内

社会・経済の国際化の進展や人口減少などにより地域の課題が多様化する中、自治体においては多文化共生や地域特産品の海外取引などの取組が求められるようになってきています。また、地球温暖化や感染症など、国際社会全体に関わる課題についても自治体は注視しておく必要があります。このような国際的な動向に迅速に対応していくためには、情報をリアルタイムで幅広く収集・分析できる国際感覚と理解力が必要です。

JIAMでは、国内での講義・演習後、海外に赴き、多くの気づきや異なる文化への理解を深める体験型の海外研修を実施しています。海外では各コースのテーマに沿った専門家の指導を受けながら、現地における見学や調査、意見交換を通じ、国際感覚の醸成や多面的な政策形成能力を養成します。

※新型コロナウイルス感染症の影響で直前に中止となる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

JIAM海外研修の特長

◆ 現場にこだわったプログラム内容

それぞれのテーマに応じた都市や視察先を選定します。視察先では、その現場で働くスタッフ等との意見交換を通して、生の声を聞くことで理解を深めます。

◆ それぞれのテーマの専門家が同行し、指導します！

テーマに沿った知識を持った専門家が同行し、その指導のもと、現地にて視察や調査、意見交換を行います。日々「ふりかえり」の時間を設け、同行講師の助言や指導を受けることにより、知識を定着させながらさらなる理解を深め、政策形成能力や実行力の向上を図ります。

◆ 各分野で活躍している講師による事前研修

国内での事前研修において、各分野で活躍している講師による講義を受け、また、グループ討議や海外事情の事前調査を積極的に行うことにより、海外での研修の理解をより深めます。また、それらを通じて人的なネットワークを築くことができます。

◆ 3研修の中から選択することができます。

自治体における課題や職員の育成方針等に応じて、3研修の中から選ぶことができます。

1. グローバルな視点で地域経営を学ぶ～多様な主体を活かす～（国内+海外）（北米）

4日間の国内研修において、事前学習を行った後、北米に赴き、同行する専門家の指導を受けながら、自治体経営、都市計画、交通、環境、観光等において特徴ある取組が行われている現地の行政機関や関係団体等を訪問し、実地調査や意見交換を行います。

（日程） 令和4年8月23日（火）～9月5日（月）

【国内4日間、海外10日間】（定員20名）

（研修のねらい）

- 行政、NPO、大学等、多様な主体によって行われている北米各地のまちづくりの取組について学ぶとともに、訪問地における行政の役割、地域経営手法について理解を深める。
- 北米の事例を通して、多面的にまちづくり施策を企画立案できる能力の向上を図る。

（視察先） アメリカ合衆国

（ワシントン州シアトル及びオレゴン州ポートランドを予定）

（令和元年度視察先：アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド、バンド）

（同行講師） 京都府立大学公共政策学部 教授・博士 川勝 健志 氏

（費用） 国内研修費約1.6万円+海外研修費61万円



ポートランド市で、自治会の代表者からneighborhood associationの説明を受ける様子（令和元年度）

2. 持続可能なまちづくり（国内+海外）（欧州）

4日間の国内研修において、事前学習を行った後、ヨーロッパに赴き、同行する専門家の指導を受けながら、持続可能なまちづくりを目指して、特徴ある取組が行われている現地の行政機関や関係団体等を訪問し、実地調査や意見交換を行います。

（日 程） 令和4年9月3日（土）～9月16日（金）

【国内4日間、海外10日間】（定員20名）

（研修のねらい）

- ヨーロッパの各都市で行われている環境、交通、都市計画、観光、文化等の施策や取組の動向、考え方について理解を深める。
- ヨーロッパの事例を通して、多面的にまちづくり施策を企画立案できる能力の向上を図る。

（視察先） ドイツ北部及びデンマーク（3～4都市程度）（令和元年度：ドイツ、スイス）

（同行講師） 龍谷大学政策学部政策学科 教授・博士 服部 圭郎 氏

（費用） 国内研修費約1.6万円+海外研修費60万円



ミュンスター市庁舎を訪問し、公共交通政策とマスタープランの説明を受ける様子（令和元年度）

3. 自治体の海外戦略～活力あるアジアとの地域間交流促進～（国内+海外）（アジア）

3日間の国内研修において、事前学習を行った後、アジアの主要都市に赴き、同行する専門家の指導を受けながら、現地の行政機関や関係団体、文化交流団体等の取組について実地調査や意見交換を行います。

（日 程） 令和4年8月17日（水）～8月27日（土）

【国内3日間、海外8日間】（定員20名）

（研修のねらい）

- 現地の人々との意見交換等を通じて、日本と訪問国との政治・経済・文化交流等における現状と課題について理解を深め、今後の地域間交流促進の契機とするとともに国際感覚の養成を図る。
- アジア諸国との文化交流、経済交流の状況を踏まえ、所属団体の地域経済活性化につながる政策の立案と実行ができる能力の向上を図る。

（視察先） シンガポール（令和元年度：シンガポール、マレーシア）

（同行講師） 明治大学経営学部公共経営学科 教授・博士 菊地 端夫 氏

（費用） 国内研修費約1.3万円+海外研修費39万円



プタリンジャヤ市幹部からスマートシティの説明を受ける様子（令和元年度）

※ 研修の日程や視察先（訪問都市）等は、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、海外のホテルは1人部屋を使用することとします。

※ 受講を希望される場合は、令和4年2月9日（水）までに「年間研修生派遣計画書」の提出をお願いします。手続きの詳細は、「令和4年度研修計画」（令和3年12月下旬発行予定）を参照してください。

修了者の声（令和元年度）

北米【グローバルな視点で地域経営を学ぶ～多様な主体を活かす～】

●マーケティングとブランディングにより今のバンド市が急成長を実現したことがわかり、本市も参考にしたいと思いました。

欧州【持続可能なまちづくり】

●この度の研修は、これまで私が携わってきた業務に関係することばかりでしたので、大満足です。

アジア【自治体の海外戦略～活力あるアジアとの交流～】

●海外研修に先立って、3日間の国内研修では、訪問国の文化と歴史について学びました。また、訪問先の事前調査としてグループで活動を行いました。自治体職員同士の交流を深める良い機会だったと思います。

【問い合わせ先】（公財）全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 (<https://www.jiam.jp>) 電話 (077) 578-5932 FAX (077) 578-5906